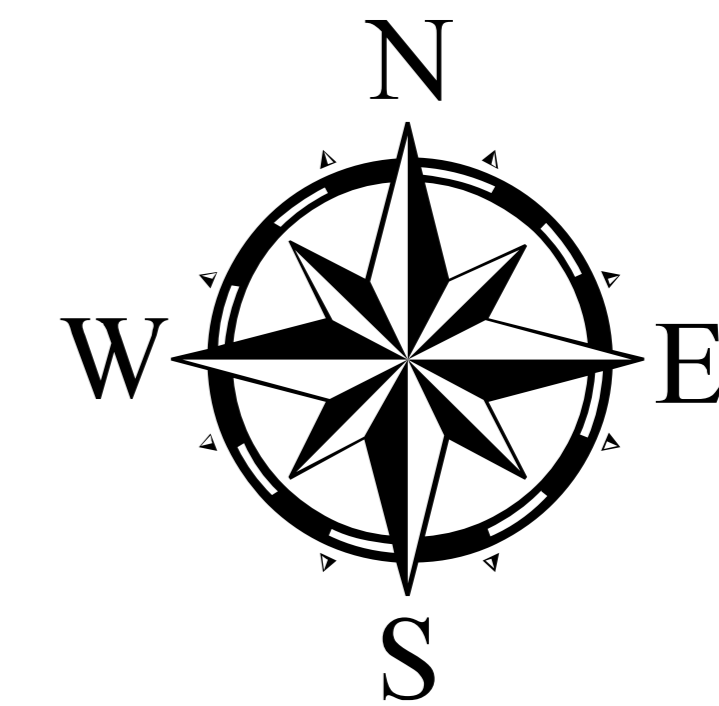
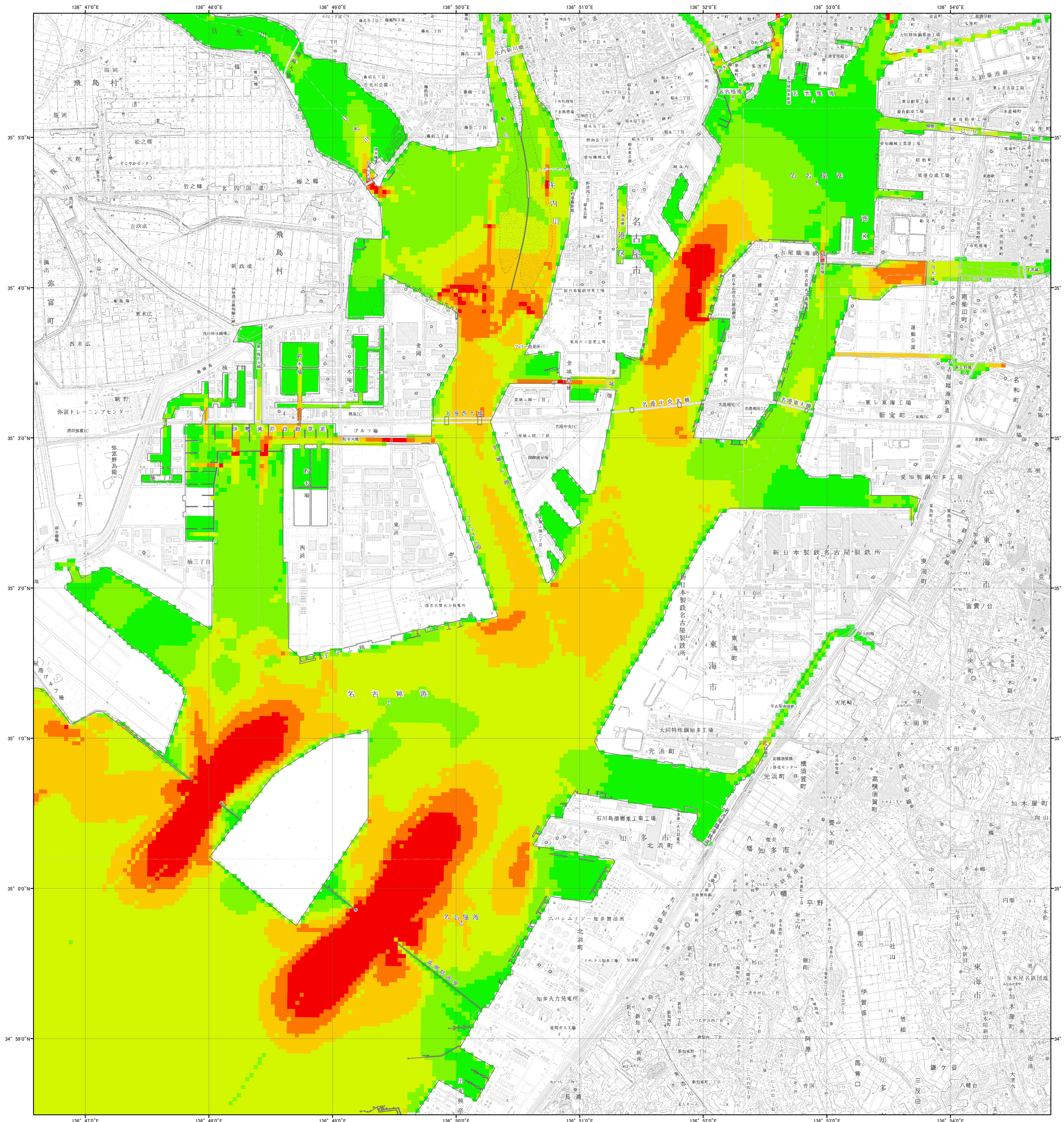


名古屋港北部 最大流速マップ

隆起量 : 平均 -0.55m (-0.62m ~ -0.45m)
 Zo : 1.40m
 備考 : 本図のシミュレーション結果は、震源の位置、規模、細かな地形などの影響により、実際のものとは異なることがある。

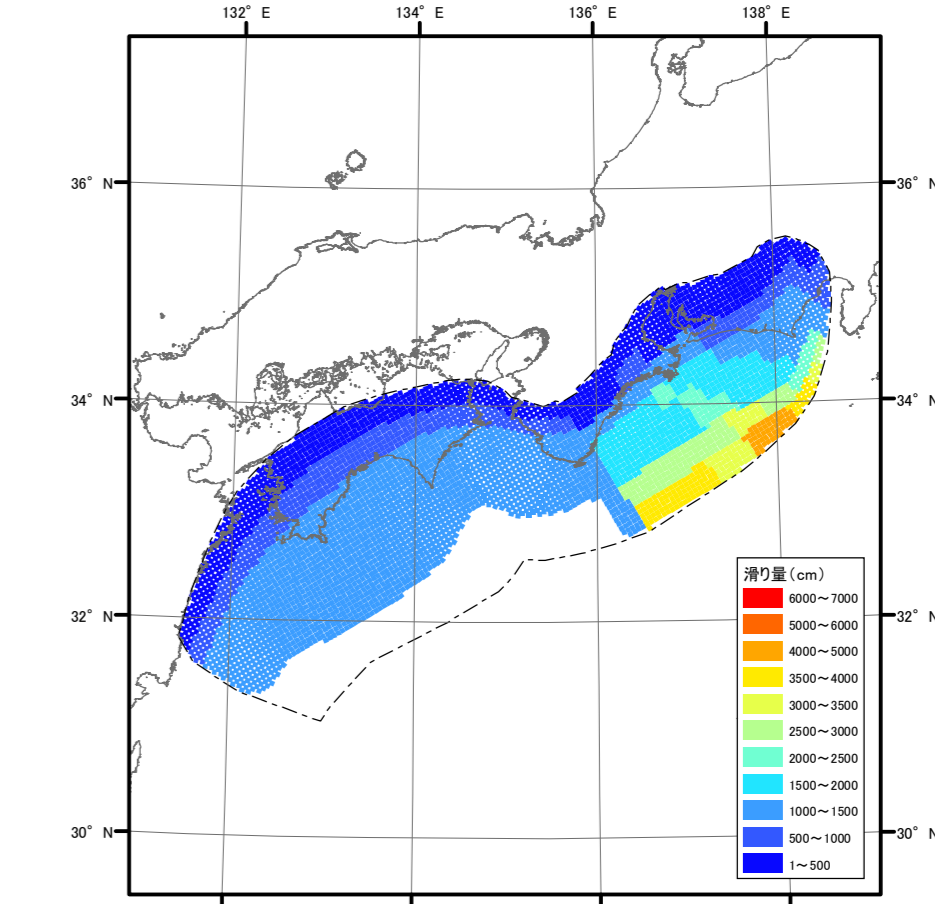


座標系 : メルカトル図法
 測地系 : 世界測地系 (WGS84)

凡例

- 最大流速(knot)
- 5knot以上
 - 4knot以上 5knot未満
 - 3knot以上 4knot未満
 - 2knot以上 3knot未満
 - 1knot以上 2knot未満
 - 1knot未満

断面モデル



ケース①「駿河湾～紀伊半島沖に『大すべり域+超大すべり』」

断面面積 S (km ²)	140,000
地震モーメント Mo (N-m)	6.1 X 10 ²²
平均すべり量 D (m)	10.3
モーメントマグニチュード Mw	9.1

本断面モデルは、内閣府の「南海トラフの巨大地震モデル検討会(第二次報告)(平成24年8月29日発表)」により公表されたものである。使用した断面モデルは、内閣府より公表された11ケースの中から、本図の区域において、浸水面積が最大となるモデルを選定した。

○ 本図の作成にあたっては、「津波解析支援GISシステム (ArcGIS 10 対応)」を使用した。
 ○ 本図の作成にあたっては、以下の資料を使用した。
 ・海上保安庁が保有する水深データ
 ・背景図は、国土地理院の承認を得て、同院発行の数値地図25000(地図画像)を複製したものである。(承認番号 平28条様、第1474号)

